



移動販売店が歴史の原点 スペシャルティコーヒーを多くの人に

【プロフィール】

愛知県出身。大学卒業後、福岡に移住。アルバイトの傍らスペシャルティコーヒーを学び、2008年にREC COFFEEを創業した。移動販売店から始まり、現在では国内外に9店舗を構える。

レックコレクティブ株式会社 代表取締役社長 岩瀬 由和氏

創業のきっかけとなった スペシャルティコーヒー

福岡市内だけではなく東京や台湾でも人気を集めるコーヒーショップ「REC COFFEE」。その始まりは2008年にスタートした移動販売店でした。REC COFFEEを運営するレックコレクティブ株式会社の代表取締役社長、岩瀬由和さんは「正直、最初からお店を作りたいという想いはあったのですが、当時はお金もなく移動販売という形を取らざるを得ませんでした。車にコーヒーマシンを置いて、コーヒーを売る。お客様の中にはその時から通ってくださる方もいらっしゃるのですが、そんなシンプルなところから始まったんです」と笑顔を見せます。

REC COFFEEが取り扱うのはスペシャルティコーヒー。もともとコーヒーは先物相場で価格が決められ、大量消費されていました。そうした中、フェアトレードやサステナビリティの概念の普及により、コーヒーのクオリティを正に評価する流れができていったそうです。そこで生まれたのがスペシャルティコーヒーです。一般的なコーヒーとは区別され、味わいや香りなどの品質に加え、生産者の存在も重視されるため、「農園からコーヒーカップまで (From Seed To Cup)」という言葉が生まれました。

岩瀬さんがそんなスペシャルティコーヒーに出会ったのは、大学卒業後、アルバイトをしていた頃。「福岡という街のカッコ良さに憧れて、何のコ

ネクションもないまま自分を試したいと思い、愛知から移住しました。当然仕事もないので、洋食店やバーでアルバイトをしていた時に会ったのがスペシャルティコーヒーというジャンルです。その1杯に込められた想いを知って世界観が変わり、自分もこのジャンルで勝負をしたいと思うようになりました」。福岡市内のコーヒーショップでアルバイトをしながらコーヒーについて学び、移動販売店での創業に漕ぎ着きました。一方、自身の味に磨きをかけるため、ジャパンバリスタチャンピオンシップにも挑戦。「審査方法は味に直結しますからね。大会に出ながら学びを深めていきました」と振り返ります。

そして2010年には福岡アジア美術館のカフェスペースに「REC COFFEE



1



2



3



4

1 コーヒー豆の焙煎を行うREC COFFEE。豆は岩瀬さん自らエチオピアや中南米などを訪れ買い付けている

3 バ리스タとして世界大会をはじめ、セミナーなどでも活躍してきた岩瀬さん。「こだわりを持つという感覚は若い世代にも伝えていきたい」という

2 初の路面店となった葯院駅前店。移動販売店時代の拠点も葯院にあったことから、創業の場所に出店した思い出の店舗

4 REC COFFEEはトラックの移動販売店からスタート。当初はコインパーキングを利用するなど、営業にも苦労が絶えなかったそう

FAAM CAFE」を出店（現在は博多マルイ店と入れ替わる形で閉店）、初の路面店となる「REC COFFEE 葯院駅前店」をオープンさせました。「電気もないし水もないという過酷な状況の移動販売店でしたが、大変というよりは楽しかったですね。小さなお店ですが、お客さんが来てくれるのは本当に喜びでした」と岩瀬さん。現在では福岡市内に5店舗、東京に2店舗、台湾に2店舗を構え、スペシャルティコーヒーを多くの人に提供しています。

競技者としての引退 そして新たな挑戦へ

REC COFFEEが転機を迎えたのは、2018年の焙煎事業のスタートです。岩瀬さんは2014年にジャパンバリスタチャンピオンシップで優勝、2016年にはWorld Barista Championshipで準優勝。そこで「これ以上何をやれば良いのかわからないくらい徹底的に取り組みましたし、ある種、結果にも満足しました。競技者としての引退し、経営のほうにフォーカスしていこうという中、コーヒー豆を焙煎するという新

しい領域にチャレンジすることになりました」と言います。大会などを通じて得たコネクションをもとに、生産者からコーヒー豆を輸入。自家焙煎によって、コーヒーのオリジナリティやアイデンティティを形成していくとともに、内製化によるコストカットを実現し、コーヒー豆の小売事業を展開するまでに至りました。さらには福岡商工会議所の物産展「博多うまかもん市」にも出展し、販路を広げていきました。また2023年にはパティスリーブランド「SAISON DES RÉCOLTES(セゾン・デ・レコルト)」を立ち上げ、九州の素材を中心としたケーキや焼き菓子を提供しています。

コーヒー1杯の 付加価値をどこまで高めるか

街にコーヒーショップが増え、文化として根付きつつある中、REC COFFEEはどう成長していくのでしょうか。「コーヒーショップが増えるとともにコーヒーファンが増えているのも確か。だからと言ってお客様を取り合うのではなく、朝はコンビニ、お昼はカフェ、夜は

ゆっくりと過ごすためにスペシャルティコーヒーを飲むなど使い分けていただいているようです。コーヒーシーンはそれだけ広がっていますし、福岡に店舗を構える同業の皆さんとも切磋琢磨して盛り上げていきたいですね」と岩瀬さん。

今後も福岡での店舗展開については積極的に挑戦していくというREC COFFEE。海外進出についても、製造部門の増設を含め、「戦略的に取り組んでいきたい」と言います。

「私たちのキーワードはコーヒー1杯の付加価値をどれだけ高められるか。店舗ごとのカラーを打ち出したコミュニティづくり、ブランドとしてのカルチャーが生み出せると嬉しいですね」と意気込みます。

取材日：11月11日



レックコレクティブ株式会社

〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-1-43

TEL:092-753-6264

<https://rec-coffee.com/>